



# かいた病院だより

## 創刊号

発行 本田宜久  
編集 広報委員会  
連絡先 TEL 09496-2-2131



## 発刊によせて

～地域連携をめざして～

### 穎田病院 院長 本田宜久



若草の萌えたつ季節となりました。穎田病院をご利用くださっている皆様のために、穎田病院職員一同は強い責任感で医療活動に邁進していきたいと思っています。

昨年4月より医療法人博愛会として新しく出発した穎田病院。地域医療の拠点としてどのような機能をもっているかをホームページに掲載しております。(http://www.kaita-hospital.jp/)

### 院長の基本方針

- |            |          |
|------------|----------|
| ①簡便な予防医学にて | 無用な災いを避け |
| ②適正な生活習慣で  | 肉体を調和し   |
| ③迅速な診断で    | その命を救い   |
| ④的確なりハビリで  | 心身を復活させ  |
| ⑤細やかな配慮で   | その人生を支える |

地域の子供達、仕事をしている方々、御年配の皆様にとって、いろいろとお役に立てる身近な病院でありたいと思っています。

具体的には

- ①いろいろな病気のワクチンを忘れずに接種できるようにお手伝いしたい。
- ②薬の治療だけでなく、食事療法や運動療法もきちんと支援したい。
- ③地域の家庭医として、幅広い診断能力の研鑽に努めていきたい。
- ④病気や怪我で自宅生活が困難な方には、充実したリハビリを提供したい。
- ⑤通院が難しい方には訪問診療で生活を支えたい。

そんな気持ちで毎日仕事をしております。

また、H21年4月より、飯塚病院との連携で質の高い人工透析を開始しております。

まだまだ「穎田病院がどんな診療をしているのか、よくわからない」という声が聞かれます。

今後、広報誌を通して穎田病院がどのようなことに力を入れているかを、逐次、わかりやすく説明してまいりたいと思います。どうぞご期待ください。

# シリーズ 語る 第1弾



## 家庭医あらわる！

茂木恒俊(内科医師)



みなさん、こんにちは！家庭医療を専門にしている茂木恒俊です。

「家庭医療??」・・・内科とか外科とか小児科なら聞いたことあるけど・・・「家庭医療」って何??と正直思った方が多いと思います。実際にそれって何??と、よく聞かれます。イメージとしては、テレビでおなじみの白い巨塔で見られるような「医師」というよりは、むかしの「お医者さん」といった感じです。今までと違うのは、「お医者さん」になるための専門的なトレーニングを米国のプログラムを参考にし、日本に合った形にしてトレーニングをしています。

子供からお年寄りまで一人の主治医で幅広く診療に当たっており、仕事をしているお母さんには大変喜ばれています！

### 何故かって??

今の時代、お父さん・お母さんが共働きしている家庭が多く、こどもの熱が出た時に、子供の診察のためだけに仕事を何回も休めるといった環境ではないようです。なので、おじいちゃん、おばあちゃんに頼んで外来に行く際に孫も一緒に連れていってもらい、一緒に診てもらおうといった良いところがあるようです。意外とこれがスキンシップになっているようです(^o^)

また、家族全体を診ていることが多いので、家族内ではやっている風邪や嘔吐下痢の事をすぐに理解してもらえたり、長く続くこどもの咳の原因がお父さんのタバコが原因という事がすぐ分かったり、さらにお父さんの禁煙に協力できたりと、家族内でのニーズに合わせた幅広い医療を提供できるのではないかと考えています。

その他に家庭医療が得意とする分野として、小児科では、こどもの予防接種や乳幼児健診だったり、内科では一般検診(メタボ検診)や往診による在宅医療などを通して地域の保健・医療に携わっていきたくと考えています。また、整形外科分野では、腰痛や肩・膝などの痛みを中心に診察したり、皮膚科の分野ではじんましん・湿疹(しっしん)・水虫・うおのめ等の治療にも関わっています。

とりあえず何でも聞いてみてください。

何でも答えて見せますよ。



穎田病院のここが知りたい！

# 院内ウォーキング



## リハビリテーション部

## その1



こんにちは！ 穎田病院リハビリテーション部の甲斐田幸輝です。

以前のように「元気になりたい」、「健康になりたい」、「好きな事をしたい」・・・など様々な思いが患者様の願いであると思います。

私達、リハビリテーション部はそのような方々に対し、様々な職種のチームと連携し病院～在宅・施設ケアまでサポートします。

## リハビリテーションとは??

身体に障害を持った方に対して、機能回復訓練を行い、日常生活での活動性を高め、家庭・地域社会復帰を促すものです。

穎田病院には、入院・外来・訪問リハビリがあり、患者様の状態にあわせリハビリが受けられます。また、電気等の温熱療法・牽引等様々な機械での治療も行っています。外来リハビリは随時受け付けておりますので、「最近転びやすくなった」「腰や膝・肩などの関節が痛い」等でお悩みの方は、是非一度主治医にご相談ください！



リハビリテーション室の風景

## メンバー紹介

**理学療法士**：主に、基本動作である歩行能力を中心に筋力向上、関節運動など、機能回復に向け支援していきます。

< 甲斐田幸輝・宮崎智恵美・藤井和代・古賀美和(訪問リハビリ) >

**作業療法士**：主に創作活動である、例えば服の着替え等日常の生活で行う動作を中心に、生活全般にわたる自立をサポートします。 < 光田章子 >

**言語聴覚士**：言葉によるコミュニケーションに問題がある方や、飲み込むことに問題のある方に自分らしい生活を送ることができるようにサポートします。 < 香月裕加 >

**穎田病院では、地域医療の一環として訪問リハビリテーションにも力を入れています！**

★訪問リハビリテーションとは、退院後、また、病院に来られない方に対し、運動方法の指導、在宅での運動機能の維持を目的とし、患者様の自宅に直接伺いサポートします。詳しい活動内容などは、次回紹介いたします。

訪問リハビリに関するお問い合わせ： 穎田病院 電話番号 09496-2-2131 (担当 甲斐田・古賀)

# 時事通信

## 肺炎球菌ワクチンをご存知ですか？

肺炎球菌ワクチンとは、肺炎を起こす最も多い原因である肺炎球菌に有効なワクチンです。日本人の死因の4番目が肺炎であり、肺炎は高齢者の大敵です。ワクチンは、肺炎による入院率、死亡率などを減らす効果があります。安全性は高く、重い副反応は極めてまれです。ときに注射部位のはれ、痛み、軽い熱がみられることがあります。65歳以上の人、心臓、肺、腎臓、肝臓に慢性疾患がある人、糖尿病、脾臓摘出後の人に接種が勧められています。接種方法は、インフルエンザワクチン同様、腕の皮下に注射します。保険診療は脾臓摘出後の人だけで、それ以外の方は、当院では、5500円で接種しています。

当院で接種を希望される方は、問診と説明後に在庫があればすぐに接種します。

予約は通常不要ですが、電話で確認していただければ確実です。

季節によらず通年接種可能です。

ご質問がございましたら、外来までご連絡下さい。



穎田病院内科 医師 安藤 諭

### 診療科のご案内

診療時間 午前8:30～午後5:00(月曜から金曜)  
 午前8:30～午後0:30(土曜)  
 受付時間 午前8:30～11:30、午後1:00～4:30(月曜から金曜)  
 午前8:30～11:30(土曜)

	月	火	水	木	金	土
内科 8:30～12:30 14:00～17:00	本田 大杉 吉田	吉田 安藤/尾田 小山	茂木 吉田 萬代(第2週)	本田 小田/檜田 藤井	本田 井村 吉田	当番制
整形外科 14:30～16:30		非常勤 (飯塚病院)	非常勤 (飯塚病院)		非常勤 (飯塚病院)	
外科 8:30～12:30	長家					
耳鼻科 8:30～12:30		非常勤 (九大)			非常勤 (九大)	
眼科 13:00～17:30			山口 (福大)			

平成21年4月現在

〜編集後記〜  
 念願でありました院内だよりの第一号が完成致しました！  
 穎田病院のことを皆様にもっと知っていただけるよう、今後も内容を吟味し、よりよい広報誌にしていきたいと思っております。内容等に対するご意見もお待ちしております。おま

(広報委員会)

<お問い合わせ先>  
**医療法人博愛会 穎田病院**  
 住所 福岡県飯塚市口原 1061  
 電話番号 09496-2-2131 (代表)